



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 富士重工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7270 URL <http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 泰之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 山藤 和典

TEL 03-3347-2005

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,708,522	24.6	233,353	218.1	221,424	249.1	181,540	241.7
25年3月期第3四半期	1,370,725	33.2	73,368	163.4	63,427	120.9	53,136	44.6

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 189,461百万円 (192.6%) 25年3月期第3四半期 64,747百万円 (130.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	232.62	—
25年3月期第3四半期	68.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,785,926	764,272	42.6
25年3月期	1,577,454	596,813	37.7

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 761,203百万円 25年3月期 595,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,380,000	24.4	310,000	157.5	294,000	192.2	221,000	84.8	283.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	782,865,873 株	25年3月期	782,865,873 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,475,401 株	25年3月期	2,435,448 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	780,405,768 株	25年3月期3Q	780,456,691 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

＜添付資料 目次＞

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(その他注記情報)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、為替の円高是正に加え、自動車売上台数の増加などにより、1兆7,085億円と前年同期比3,378億円(24.6%)の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い、営業利益が2,334億円と前年同期比1,600億円(218.1%)の増益となり、経常利益につきましても、2,214億円と前年同期比1,580億円(249.1%)の増益となりました。また、四半期純利益につきましては、ポラリス インダストリーズ インクの株式売却に伴う特別利益471億円を計上したことなどにより、1,815億円と前年同期比1,284億円(241.7%)の増益となりました。

[セグメントの状況]

第3四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

①自動車事業部門

国内におけるスバルの登録車につきましては、先進運転支援システム「アイサイト(ver.2)」搭載車を中心に、「インプレッサ」が前年に引き続き堅調に推移していることに加え、「フォレスター」と「SUBARU XV HYBRID」が台数の上積みにより、売上台数は87千台と前年同期比10千台(13.0%)の増加となりました。

また、軽自動車につきましては、乗用系車種の「ステラ」が堅調に推移し、「プレオ+ (プラス)」が台数の上積みにより、売上台数は37千台と前年同期比2千台(6.7%)の増加となりました。

これらの結果、国内における売上台数の合計は124千台と前年同期比12千台(11.0%)の増加となりました。

海外につきましては、当社の重点市場である北米において「インプレッサ」及び「フォレスター」の販売が好調に推移したことなどにより、売上台数の合計は470千台と前年同期比54千台(13.1%)の増加となりました。

地域別の売上台数は、北米で354千台と前年同期比71千台(24.9%)の増加、ロシアを含む欧州で33千台と前年同期比15千台(31.5%)の減少、豪州で30千台と前年同期比1千台(4.8%)の増加、中国で30千台と前年同期比11千台(26.6%)の減少、その他地域で24千台と前年同期比8千台(55.0%)の増加となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は593千台と前年同期比67千台(12.7%)の増加となり、為替の円高是正も加わり、全体の売上高は、1兆5,962億円と前年同期比3,245億円(25.5%)の増収となりました。また、セグメント利益につきましても、2,203億円と前年同期比1,528億円(226.6%)の増益となりました。

②航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では、戦闘ヘリコプター「AH-64D」及び、輸送機「C-2」の売上増加により、売上高は前年同期を上回りました。

また、民間向け製品につきましても、「ボーイング777」、「ボーイング787」の売上増加及び為替の円高是正により、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、全体の売上高は846億円と前年同期比210億円(33.0%)の増収となりました。セグメント利益につきましても、106億円と前年同期比68億円(180.3%)の増益となりました。

③産業機器事業部門

国内のポンプ用エンジン、北米向け及びアジア向けの汎用エンジンの販売が伸長したものの、北米向けレジャー用エンジンの販売が減少したことなどにより、売上高は220億円と前年同期比3億円（1.5%）の減収となりました。セグメント利益につきましても、2億円と前年同期比1億円（32.9%）の減益となりました。

④その他事業部門

その他事業部門に含めておりました「エコテクノロジー事業」を昨年3月末日をもって終了したことなどにより、売上高は56億円と前年同期比73億円（56.6%）の減収となりました。セグメント利益につきましても、18億円と前年同期比3億円（23.5%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1兆7,859億円と前期末に比べ2,085億円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金と短期資金運用のための有価証券を合わせた手許資金が1,720億円増加したことなどです。

負債につきましては、1兆217億円と前期末に比べ410億円の増加となりました。主な要因は、短期借入金が193億円減少したものの、未払法人税等が725億円増加したことなどです。

純資産につきましては、7,643億円と前期末に比べ1,675億円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益を計上したことなどにより、利益剰余金が1,581億円増加したことなどです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,982億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は2,215億円（前年同四半期連結累計期間は1,113億円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を2,671億円計上したことなどです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は121億円（前年同四半期連結累計期間は467億円の減少）となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入（取得による支出との純額）405億円、有形固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）518億円などです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は547億円（前年同四半期連結累計期間は439億円の減少）となりました。主な要因は、短期借入金の減少187億円、長期借入金の返済による支出（借入れによる収入との純額）129億円、配当金の支払236億円があったことなどです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年11月13日に公表した予想に対し、諸経費等の増加があるものの、為替影響、自動車売上台数の増加や原価低減等による収益の改善が見込まれるため、下記のとおり上方修正させていただきます。

なお、通期の連結業績の前提となる為替レートは1米ドル99円（前回公表97円）、1ユーロ133円（前回公表127円）となっております。また、第4四半期の為替レートは1米ドル100円、1ユーロ141円としております。

平成26年3月期通期連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,300,000	百万円 278,000	百万円 272,000	百万円 207,000	円 銭 265.24
今回修正予想(B)	2,380,000	310,000	294,000	221,000	283.19
増減額(B-A)	80,000	32,000	22,000	14,000	
増減率(%)	3.5	11.5	8.1	6.8	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	1,912,968	120,411	100,609	119,588	153.23

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	285,152	234,898
受取手形及び売掛金	124,234	107,227
リース投資資産	22,145	22,277
有価証券	66,370	288,585
商品及び製品	163,852	184,173
仕掛品	50,498	54,917
原材料及び貯蔵品	35,217	35,132
繰延税金資産	52,947	65,420
短期貸付金	96,990	114,432
その他	47,579	50,327
貸倒引当金	△951	△937
流動資産合計	944,033	1,156,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	113,186	115,283
機械装置及び運搬具（純額）	116,864	110,873
土地	173,012	175,005
賃貸用車両及び器具（純額）	13,062	8,371
建設仮勘定	14,232	24,067
その他（純額）	14,599	14,071
有形固定資産合計	444,955	447,670
無形固定資産		
その他	12,751	13,536
無形固定資産合計	12,751	13,536
投資その他の資産		
投資有価証券	93,054	76,432
繰延税金資産	6,227	8,671
その他	80,425	87,132
貸倒引当金	△3,991	△3,966
投資その他の資産合計	175,715	168,269
固定資産合計	633,421	629,475
資産合計	1,577,454	1,785,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	242,743	235,247
電子記録債務	61,595	66,860
短期借入金	60,867	41,542
1年内返済予定の長期借入金	45,197	62,762
1年内償還予定の社債	10	4,010
未払法人税等	7,828	80,314
未払費用	83,032	81,462
賞与引当金	17,865	8,980
製品保証引当金	34,740	40,169
工事損失引当金	918	332
事業譲渡損失引当金	2,550	2,306
訴訟損失引当金	369	—
その他	99,317	100,278
流動負債合計	657,031	724,262
固定負債		
社債	14,060	10,055
長期借入金	187,023	157,619
繰延税金負債	19,139	10,923
退職給付引当金	34,917	36,346
役員退職慰労引当金	457	479
その他	68,014	81,970
固定負債合計	323,610	297,392
負債合計	980,641	1,021,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,071
利益剰余金	301,357	459,473
自己株式	△1,292	△1,389
株主資本合計	613,931	771,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,882	11,966
為替換算調整勘定	△46,448	△22,713
その他の包括利益累計額合計	△18,566	△10,747
少数株主持分	1,448	3,069
純資産合計	596,813	764,272
負債純資産合計	1,577,454	1,785,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,370,725	1,708,522
売上原価	1,091,449	1,227,547
売上総利益	279,276	480,975
販売費及び一般管理費	205,908	247,622
営業利益	73,368	233,353
営業外収益		
受取利息	1,032	1,222
受取配当金	779	842
持分法による投資利益	61	236
不動産賃貸料	450	401
その他	377	1,050
営業外収益合計	2,699	3,751
営業外費用		
支払利息	2,575	2,008
為替差損	1,552	9,208
デリバティブ評価損	6,382	1,558
その他	2,131	2,906
営業外費用合計	12,640	15,680
経常利益	63,427	221,424
特別利益		
固定資産売却益	465	200
投資有価証券売却益	479	47,248
国庫補助金	1,725	—
貸付債権譲渡益	325	—
その他	826	166
特別利益合計	3,820	47,614
特別損失		
固定資産除売却損	1,558	1,660
減損損失	36	35
固定資産圧縮損	1,725	—
事業譲渡損失引当金繰入額	936	—
その他	1,250	243
特別損失合計	5,505	1,938
税金等調整前四半期純利益	61,742	267,100
法人税等合計	8,532	85,438
少数株主損益調整前四半期純利益	53,210	181,662
少数株主利益	74	122
四半期純利益	53,136	181,540

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	53,210	181,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,431	△15,916
為替換算調整勘定	8,104	23,620
持分法適用会社に対する持分相当額	2	95
その他の包括利益合計	11,537	7,799
四半期包括利益	64,747	189,461
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,673	189,359
少数株主に係る四半期包括利益	74	102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	61,742	267,100
減価償却費	43,207	44,601
減損損失	36	35
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,026	△9,078
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,594	2,844
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△141	△586
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	740	1,213
受取利息及び受取配当金	△1,811	△2,064
支払利息	2,575	2,008
デリバティブ評価損益 (△は益)	6,382	1,558
持分法による投資損益 (△は益)	△61	△236
固定資産売却損益 (△は益)	1,093	1,460
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△354	△47,117
売上債権の増減額 (△は増加)	20,885	20,658
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,753	△9,040
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,468	△4,224
リース投資資産の増減額 (△は増加)	580	△132
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△6,769	△17,117
賃貸用車両及び器具の増減額 (△は増加)	524	3,601
預り金の増減額 (△は減少)	2,272	△3,367
その他	15,339	△6,431
小計	123,522	245,686
利息及び配当金の受取額	1,811	2,071
利息の支払額	△2,561	△1,883
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△11,488	△24,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,284	221,487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△5,844	△9,765
有価証券の売却による収入	3,617	15,036
有形固定資産の取得による支出	△37,946	△52,565
有形固定資産の売却による収入	813	762
無形固定資産の取得による支出	△3,373	△3,640
投資有価証券の取得による支出	△10,580	△20,215
投資有価証券の売却による収入	8,672	60,676
貸付けによる支出	△68,654	△58,793
貸付金の回収による収入	67,510	60,568
その他	△893	△4,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,678	△12,134

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△17,514	△18,657
長期借入れによる収入	4,868	3,295
長期借入金の返済による支出	△13,177	△16,195
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△20,005	△5
配当金の支払額	△7,362	△23,580
少数株主からの払込みによる収入	—	1,280
その他	△723	△858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,913	△54,720
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,547	14,454
現金及び現金同等物の期首残高	258,084	169,087
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	258,084	328,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,320	122
	304,644	498,156

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）
該当事項はありません。

（その他注記情報）

（四半期連結損益計算書関係）

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）
（特別利益）

その他特別利益のうち、775百万円は航空宇宙事業において過年度にその他特別損失（たな卸資産評価損）を計上したたな卸資産の売却に伴う戻入等であります。

（特別損失）

その他特別損失のうち、1,099百万円はクリーンロボット事業において過年度に受給した委託研究費及び助成金の返還に伴うものであります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

（特別利益）

投資有価証券売却益のうち、47,118百万円は当社が保有するポラリス インダストリーズインクの株式を売却したことによるものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,271,731	63,641	22,376	1,357,748	12,977	1,370,725	—	1,370,725
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,362	—	21	2,383	10,727	13,110	△13,110	—
計	1,274,093	63,641	22,397	1,360,131	23,704	1,383,835	△13,110	1,370,725
セグメント利益	67,445	3,790	286	71,521	1,484	73,005	363	73,368

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,596,232	84,611	22,044	1,702,887	5,635	1,708,522	—	1,708,522
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,318	—	409	2,727	9,952	12,679	△12,679	—
計	1,598,550	84,611	22,453	1,705,614	15,587	1,721,201	△12,679	1,708,522
セグメント利益	220,290	10,624	192	231,106	1,832	232,938	415	233,353

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

〈 2014年3月期 第3四半期決算 参考資料 〉

<単位>金額：億円、台数：千台、比率：％

	2013年3月期 第3四半期累計期間 (2012. 4. 1~2012. 12. 31)	2014年3月期 第3四半期累計期間 (2013. 4. 1~2013. 12. 31)		2013年3月期 通期実績 (2012. 4. 1~2013. 3. 31)	2014年3月期 通期予想 (2013. 4. 1~2014. 3. 31)		2014年3月期 前回通期予想 (2013. 4. 1~2014. 3. 31)		
		増減	増減率		増減	増減率			
売上高	13,707	17,085	3,378	24.6	19,130	23,800	4,670	24.4	23,000
国内	4,823	4,788	▲ 35	▲ 0.7	6,718	6,495	▲ 223	▲ 3.3	6,437
海外	8,884	12,297	3,413	38.4	12,411	17,305	4,893	39.4	16,563
営業利益	734	2,334	1,600	218.1	1,204	3,100	1,896	157.5	2,780
利益率	5.4	13.7			6.3	13.0			12.1
経常利益	634	2,214	1,580	249.1	1,006	2,940	1,934	192.2	2,720
利益率	4.6	13.0			5.3	12.4			11.8
当期純利益	531	1,815	1,284	241.7	1,196	2,210	1,014	84.8	2,070
利益率	3.9	10.6			6.3	9.3			9.0
営業利益増減要因			為替レート差 売上構成差等 原価低減等 諸経費等 試験研究費	1,428 195 194 ▲ 137 ▲ 80			為替レート差 売上構成差等 原価低減等 諸経費等 試験研究費	1,620 484 210 ▲ 309 ▲ 109	
為替レート	80円/US\$ 103円/EURO	98円/US\$ 131円/EURO			82円/US\$ 106円/EURO	99円/US\$ 133円/EURO			97円/US\$ 127円/EURO
設備投資	484	412			702	720			720
減価償却費	389	394			559	550			550
試験研究費	353	433			491	600			600
有利子負債残高	3,236	2,760			3,072	2,700			2,700
業績評価			・2期連続の増収、増益 ・売上台数、売上高、各利益ともに過去最高				・2期連続の増収、増益 ・売上台数、売上高、各利益ともに過去最高		
日本売上台数	112	124	12	11.0	163	189	26	15.7	170
登録車	77	87	10	13.0	113	135	22	19.8	116
軽自動車	35	37	2	6.7	50	54	3	6.7	54
海外売上台数	415	470	54	13.1	561	640	79	14.1	637
北米	283	354	71	24.9	390	476	86	21.9	471
欧州	48	33	▲ 15	▲ 31.5	61	47	▲ 14	▲ 22.6	50
中国	40	30	▲ 11	▲ 26.6	50	45	▲ 5	▲ 10.7	44
その他	44	53	10	22.5	60	73	13	21.2	72
連結売上台数合計	527	593	67	12.7	724	829	105	14.5	807
生産台数合計	557	602	45	8.0	764	816	52	6.8	815
日本	426	482	57	13.3	583	653	70	11.9	652
米国	132	120	▲ 12	▲ 9.1	181	163	▲ 18	▲ 9.8	163
売上高 事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他	12,717 636 224 130	15,962 846 220 56	3,245 210 ▲ 3 ▲ 73	25.5 33.0 ▲ 1.5 ▲ 56.6	17,790 891 301 147			
営業利益 事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他 消去・全社	674 38 3 15 4	2,203 106 2 18 4	1,528 68 ▲ 1 3 1	226.6 180.3 ▲ 32.9 23.5 14.3	1,110 68 6 16 4			

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（千台未満を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 為替レートは富士重工業単独売上レート

注3. 連結売上台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

注4. 国内生産台数合計にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。



2014年2月4日

富士重工業 2014年3月期 第3四半期連結業績の概要

<2014年3月期 第3四半期累計期間業績：連結売上高>

スバル車の販売は、フォレスター、インプレッサの販売が好調に推移したことにより、米国が前年同期比25.8%増の326千台と海外販売を牽引し、海外合計では同13.1%増の470千台となりました。国内も同11.0%増の124千台となり、全世界合計は同12.7%増の593千台となりました。

連結売上高は、為替の円高是正、台数の増加等により、同24.6%増の1兆7,085億円となりました。

<2014年3月期 第3四半期累計期間業績：連結損益>

連結損益は、為替の円高是正、台数の増加、原価低減の進捗等により、営業利益が前年同期比218.1%増となる2,334億円、経常利益は同249.1%増の2,214億円、当期純利益は同241.7%増の1,815億円となりました。

なお、全世界販売台数、海外販売台数、米国販売台数、連結売上高、各利益段階のいずれも第3四半期累計期間として過去最高*1となりました。

*1：四半期連結決算の開示を始めた2004年3月期以降の過去最高

<2014年3月期 通期連結業績見通し>

通期販売台数見通しは、前回予想に対し22千台増の829千台に上方修正します。通期連結業績見通しは、為替レートを見直すと共に、台数の増加等を見込み、連結売上高2兆3,800億円、営業利益3,100億円、経常利益2,940億円、当期純利益2,210億円に上方修正します。

全世界販売台数、連結売上高、各利益段階のいずれも過去最高*2となる見通しです。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥99/US\$、¥133/EUROです。

※2013年11月13日 業績予想の修正公表時の通期連結業績見通し

売上高2兆3,000億円、営業利益2,780億円、経常利益2,720億円、当期純利益2,070億円、
想定為替レート¥97/US\$、¥127/EURO

*2：通期連結決算の開示を始めた1986年3月期以降の過去最高

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。